

～臨床データの研究利用についてのお願い～

研究名 アストグラフ法を用いた気道過敏性判定についての検討

【背景と目的】当院では気管支喘息を判定するために気道炎症、気道過敏性、気道狭窄について検査をし、総合的に判定しています。現在当院では呼気NOで気道炎症、気道過敏性検査で気道過敏性、肺機能およびオッシレーション法で気道の狭窄を判定していますが、判定の基準について国内でのデータが不足しています。

【研究実施期間】倫理委員会承認後から 2023.7.31 まで

【対象】 気管支喘息または気管支喘息を疑われる方

通常の検査、診察、治療を行い、診療の中で必要に応じて 2012.1.1-2022.7.31 に気道過敏性検査（アストグラフ）を行った方について通常診療で得られた情報（年齢、性別、臨床経過期間、既往歴、治療歴、呼吸機能、呼気 NO、モストグラフ、血液検査結果）と合わせ検証します。情報は番号で仮名化し厳重に保管し、解析します。

【予想される結果】日本ですでに保険診療で行われている検査です。今回の検証でより精度を高めることが期待されます。アストグラフは保険診療で行われている気管支喘息の病態の中の気道過敏性を評価する検査です。気道刺激物質を吸入し発作が起きるレベルを調査します。医師が同席し、発作の時には速やかに対応するようにしています。

【診療への還元、寄与】これらの臨床データは通常の診療で過去に記録されたものを基にしており、患者さんに新たな負担はありません。また、個人を特定できるような状態でデータを使用公表することはありません。本研究の目的と、臨床データ利用に関するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。本研究に関するさらなる説明をご希望の方、また、本研究に於いて臨床データの利用を希望されない方は 2023 年 7 月 31 日までに下記問い合わせ窓口にご連絡下さい。

（問い合わせは平日 9：00-17：00 まででお願いします。）

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院呼吸器内科部長 駒瀬 裕子

〒241-0811 横浜市旭区矢指町 1 1 9 7-1 TEL: 045-366-1111 FAX: 045-366-1190